

「人生100年時代におけるライフマネジメント」研究会発足のお知らせ

公益財団法人生命保険文化センター（代表理事 鈴木勝康）では、この度、「人生100年時代におけるライフマネジメント」研究会（座長：西村 周三 前厚生労働省社会保障審議会会長、京都先端科学大学経済経営学部学部長）を発足いたします。

上記研究会では、人生100年時代を見据え超高齢社会や長生きによる経済的リスク等に関して行動経済学・社会保障・医療経済学・老年精神医学・社会心理学・保険論など学際的な観点から多角的な分析を行い、問題解決策を探るとともに、生命保険がどのように貢献できるのかについて検討を行います。

記

<研究期間>

2019年5月から2021年3月まで

<研究会発足に至る背景>

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると日本の人口構成は2050年には100歳以上の人口が53万人を超え、総人口に占める70歳以上の人口の割合が30.1%という高齢社会を迎えます。

このような人口構成社会における社会保障制度の持続可能性については盛んに議論が行われており、各方面で全世代型社会保障の実現に向けた検討を開始しています。

また、高齢化に伴い資産寿命（保有金融資産の維持可能期間）が生命寿命よりも先に尽きてしまうのではないかと懸念から、どのように資産寿命を延ばしていくかに社会的に関心が高まっています。さらに2030年には認知症患者の保有する金融資産が200兆円を超えるとの試算もあるように「体は健康だが、認知機能が低下した高齢者」が増加していった場合、成年後見人制度などの在り方も検討していかななくてはなりません。さらには介護なども含めた日本の家族の在り方そのものに対する再考も必要となってきます

本研究会では、20年～30年後の日本の社会について行動経済学・社会保障・医療経済学・老年精神医学・社会心理学・保険論など学際的な観点から多角的な分析を行い、問題解決策を検討します。加えて、それら解決策に対し生命保険がどのように貢献できるのかも併せて検討をしていきます。

<研究成果>

研究会終了後、6か月以内に研究報告を取りまとめる予定

<初回研究会>

2019年5月28日（火）15:00～17:00（於 生命保険協会 大会議室）

※2回目以降は、東京研究会および関西研究会にて、それぞれ開催いたします。

<研究会メンバー>

研究会の主なメンバーは以下のとおりです。

以上

※本リリースは、日銀記者クラブに配布しています。

<本件に関するお問合せ先>

生命保険文化センター 保険研究室

人生100年時代におけるライフマネジメント研究会事務局

e-mail: tokubetsuken@jili.or.jp Tel: (03) 5220-8512

<東京研究会>

(座長)

西村 周三 氏 (前厚生労働省 社会保障審議会会長、京都先端科学大学 経済経営学部 学部長)

(メンバー)

石田 成則 氏 (関西大学 政策創造学部 政策学科 教授)

秋山 弘子 氏 (東京大学 名誉教授)

権丈 善一 氏 (慶應義塾大学 商学部 教授)

石坂 元一 氏 (中央大学 商学部 教授)

浅井 義裕 氏 (明治大学 商学部 専任准教授)

古村 聖 氏 (武蔵大学 経済学部 経済学科 准教授)

税所 真也 氏 (東京大学 高齢社会総合研究機構 特任助教)

<関西研究会>

(座長)

西村 周三 氏 (前厚生労働省 社会保障審議会会長、京都先端科学大学 経済経営学部 学部長)

(メンバー)

石田 成則 氏 (関西大学 政策創造学部 政策学科 教授)

大竹 文雄 氏 (大阪大学大学院 経済学研究科 教授)

成本 迅 氏 (京都府立医科大学大学院 医学研究科 教授)

内田由紀子 氏 (京都大学 こころの未来研究センター 教授)

角谷 快彦 氏 (広島大学大学院 社会科学研究科 社会経済システム専攻 教授)

佐々木周作 氏 (京都大学大学院 経済学研究科 特定講師)

<本件に関するお問合せ先>

生命保険文化センター 保険研究室

人生100年時代におけるライフマネジメント研究会事務局

e-mail: tokubetsuken@jili.or.jp Tel: (03) 5220-8512